



# British Politics Today

2014年7月1日  
第3巻 第7号

著者 菊川智文,

www.Kikugawa.co.uk  
tomo@kikugawa.co.uk

## この号の内容

- 1 はじめに
- 2 4党時代に入ったイギリス政治
- 3 スコットランドはどうなる?
- 4 EUで孤立したキャメロン首相
- 5 著書紹介 マーガレット・サッチャー: イギリスを変えた女性
- 6 上院の現状

## 2014年欧州議会議員選挙 (イギリス 73 議席) 主要 4 政党結果

政党	議席数	得票率
UKIP	24(+11)	27.5%(+11.0%)
労働党	20(+7)	25.4%(+9.7%)
保守党	19(-7)	23.9%(-3.8%)
自民党	1(-10)	6.9%(-6.8%)

( ) は前回 2009 年と比較

## 1. はじめに

ブラジルで開かれているサッカーの世界カップでイングランドも日本と同様グループステージで敗退した。決勝トーナメントでの試合ぶりを見ていると、あまり注目されていなかった国々の活躍が目につき、イングランドがもし決勝トーナメントに進出していても勝てなかっただろうと思われる相手が多い。時代が変わった。それはサッカーだけではなくイギリスの政治でも同じである。

## 2. 4 党時代に入ったイギリス政治

次期総選挙は、10 か月後の 2015 年 5 月の予定で、各政党ともその準備に入っている。その中、[欧州議会議員選挙を地方自治体ごとの得票状況で分析した研究](#)によると、イギリスでは既に保守党、労働党、自民党、イギリス独立党(UKIP)の 4 党時代に入っているようだ。

欧州議会議員選挙は比例代表制で議員が選ばれるのに対し、下院議員選挙は、それぞれの選挙区で最も多くの得票をした一人だけが当選する小選挙区制である。そのため、支持者の多い選挙区を築くことが政党にとって重要だ。

UKIP はイギリスを EU から離脱させることを目的に 1993 年に設立された政党だが、2009 年の前回の欧州議会議員選挙より得票率を 11% アップさせ、イギリスで最多の得票と議席を獲得した。

この分析によると、UKIP の強い、牙城と呼べるような地域が出現し、地方議会へ進出している。特にイングランド東部や南部の海岸沿いにそのような地域がある。年配の白人の労働者階級が多い地域であり、中でも年金生活者が多く、移民や少数民族が少ない、現場労働者が多いところだという。一方、若い大卒が多く、移民や少数民族と入り混じる大都市では伸びていない。

労働党は欧州議会議員選挙で 10% 近く票を伸ばしたが、労働党が大きく票を伸ばした地域は、特に若い有権者がいるところで、大卒と少数民族が多い。自民党から都市部の中流階級や若い大卒を奪っている。大都市での支持は大きく伸びているが、既に労働党の強い地域であり、中流・白人労働者階級の地域では伸びていない。

自民党は、これまで保守党、労働党らに不満のある層を引き付けていたが、保守党との連立政権参加以降、それがなくなった。そのような層が UKIP に流れている。

保守党は、UKIP とは最も票が重なる。UKIP の票が伸びているところでは、保守党と票を二分する可能性があり、その結果、弱い労働党候補が漁夫の利を得る可能性がある。また、連立を組む自民党とは、次点との票差の少ない、マージナル選挙区で争っているところがかかなりある。

4 党時代を迎え、それぞれが他の 3 党への対応戦略を立てる必要があり、選挙戦はかなり複雑なものとなっている。イギリスの政治は変わってきている。

### 3. スコットランドはようになる？

スコットランドの独立をめぐる住民投票が9月18日に行われる。

既に5月29日から公式の運動期間に入っており、独立賛成派と独立反対派に分かれ、キャンペーンが行われている。この期間の運動費用はそれぞれ最大150万ポンド(2億6千万円)で、それに政党などの組織は別枠で支出制限がある。

独立賛成派は、スコットランド分権政府を担当するスコットランド国民党(SNP)が中心だが、緑の党やスコットランド社会主義者党なども参加している。007で有名なショーン・コネリーは SNP 支持者で独立賛成派だ。

一方、独立反対派には保守党、労働党、自民党、ハリー・ポッターの著者 J.K.ローリングなどがいる。このグループの代表は、スコットランドの下院議員で、ブラウン首相の下で財相を務めたアリスター・ダーリングである。

もし賛成多数となれば、SNP の分権政府は、エリザベス女王を元首とした独立国スコットランドを2016年3月24日にスタートさせる予定だ。なお、エリザベス女王の先祖は、スコットランド王だった。

独立するまでの手続きは以下ようになる。ロンドンのウェストミンスター議会でスコットランドの独立準備を進める法案が可決された後、スコットランド分権政府とウェストミンスター政府の間で資産、負債の分配や権限の委譲など、独立に必要な事項が協議される。それがまとまると、合同法の解消法案が議会に提出され、通過後、女王の裁可を得て、スコットランドは独立国に復帰する。

もし独立反対が多数となれば、スコットランドはイギリスの一部のままだが、保守党、労働党、自民党が既に約束したように、スコットランド分権政府に徴税権など大幅な権限移譲が行われる。この手続きは2015年総選挙後となる。

なお、独立賛成派の運動の効果は上がっておらず、世論調査によると、独立賛成の人の割合は、4対6の割合で停滞している。6月25日から29日に行われた [YouGov/Times の世論調査](#)では、もし明日投票があるとすればどう投票するかという問いに対し、独立賛成と答えたのは35%に留まり、反対が54%、投票しない、もしくはわからないが12%であった。この停滞の主な原因は、[スコットランド独立で経済的によくなるかどうか疑問が生じてきている](#)ことにある。

1314年にスコットランドがイングランドを破った、バノックバーンの戦いを再現するなど、スコットランド愛国心を掻き立てる活動が行われている。サッカーのワールドカップのグループステージでイングランドがウルグアイに2対1で敗れたが、ウルグアイが2点目を得点したとき、スコットランドの「国旗」を掲げて喜んでいたスコットランド人がテレビでたまたま放映され、イギリスで大きな話題になった。そのようなスコットランド愛国者がいるにせよ、有権者が慎重になっている面があるようだ。

これから9月まで、SNP の党首でスコットランド首席大臣のアレックス・サモンドは、経済的な面で積極的な攻撃を仕掛けていこうと、それがどの程度の効果を生むかが結果を決めることとなるだろう。

なお、独立住民投票の開票は、投票終了後直ちに行われ、翌日の午前中には結果が判明する。

#### スコットランド

**歴史** 9世紀にスコットランドとして建国され、1707年5月1日、イングランドと合同。

**中心都市** エディンバラ  
**面積** 7万8400平方キロ  
**人口** 530万人

面積、人口ともに北海道よりやや少ない。

スコットランドの「国旗」



## 4. EU で孤立したキャメロン首相

イギリス人は EU に不満を持っている。国境は EU 内の人々に開放状態であり、低熟練労働者がイギリスに職を求めてくる、また EU 官僚が国の運営に影響力を持ちすぎていると考えている。

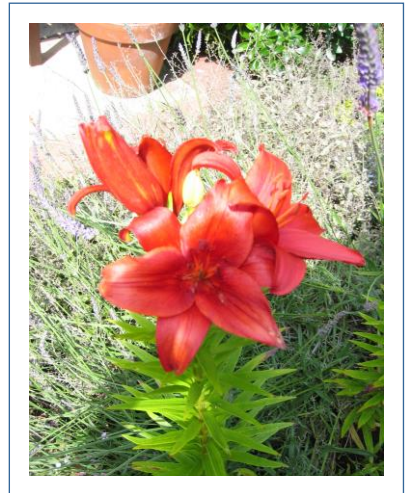
その中、「EU の首相」ともいえる立場の欧州委員会委員長の選任をめぐって、キャメロン首相は EU 加盟国 28 か国の中で孤立し、EU 改革の妨げになると真っ向から反対していた「本命」が 26 か国の支持を得て選ばれた。

イギリスの新聞は、この結果をイギリスが「EU 脱退に一步近づいた」と表現した。有権者の多くは、キャメロンが反対するのは正しいとし、誤りだとする人はわずかだった。さらに、上記投票後の世論調査で 47%の有権者が EU 脱退に賛成し、脱退反対は 39%で、脱退派が増えている。

イギリスを EU に留めたいキャメロン首相は、次期総選挙に勝てば、EU を改革し、国の権限を取り戻した上で、2017 年末までに EU 国民投票を行うと約束している。そのため EU 改革に積極的な人物を委員長にしたいと考えていたが、あてにしていたメルケル独首相が立場を変えた。キャメロンは振り上げたこぶしを下ろせず、面目を保つために「反対」で突っ走ったのである。

投票が行われたのは 6 月 27 日だった。キャメロンは 6 月 29 日夕方にその「本命」ルクセンブルグ前首相のユンケルにお祝いの電話をしたが、国内、EU 内ともに前途多難である。

庭のユリ



### 雑記

保守党の下院議員が議会の倫理基準に反し、辞職したことを受け、6 月 5 日、補欠選挙が行われた。保守党が議席を維持し、イギリスの EU からの離脱を唱えるイギリス独立党 (UKIP) が次点となった。

保守党の得票割合は、45%で前回 2010 年の総選挙よりマイナス 8.9%、UKIP は 25.9%でプラス 22.1%、そして労働党は 17.7%でマイナス 4.6%であった。

かなり余裕を持って保守党が勝利を取めたように見えるが、2010 年には 3.8%しか得票できず供託金没収となった UKIP が今回は次点となり、しかも 25.9%の票を獲得した。5 月の欧州議会議員選挙でイギリスのトップとなった UKIP の勢いは否定できない。

特に注目されるのは、この補欠選挙で保守党はこれまでにない死力を尽くした選挙戦を展開したことだ。

イギリスの人口は日本の約半分だが、選挙区は 650 あり、それぞれの選挙区の最多得票者が一人だけ当選する完全な小選挙区制である。当日の有権者数は 73,486 人であった。つまり、この選挙は日本でいえば、小さな市の市長選挙のようなものである。

この選挙区は 2010 年の選挙結果が示すように、圧倒的に保守党が強い選挙区である。それにもかかわらず、キャメロン首相は、現職の首相としては例がない 4 回も選挙区入りした。しかも 300 人余のすべての保守党下院議員に少なくとも 3 回選挙区を訪問するよう命じた。その上、全国から千人と言われる活動家を呼び寄せ、選挙運動をさせた。活動家のはるかに少ない UKIP にいかに神経質になっているかがよくわかる。



## 5. 筆者著書紹介

### マーガレット・サッチャー：イギリスを変えた女性

マーガレット・サッチャーは、イギリス最初の女性首相である。1979年から1990年の11年余りの首相在任中、「鉄の女」として「老いた国」イギリスを立ち直らせた。何度も来日し、日本にも少なからず影響を与えた女性である

その2013年の葬式では、ジョージ・オズボーン財相が感極まり、式中に頬に涙を流した。大幅な財政削減を進めながら同時に経済成長をはかるキャメロン政権の財相として、多くの批判を浴びながらも、原則を貫こうとする自分と、断固として自分の立場を貫いたサッチャーの姿に重なるものを見出したのだろう。オズボーンの経済・財政政策は、今や花開き、2014年の経済成長予測では、IMF、OECDともに先進主要国G7の中でトップである。

サッチャーの影響はイギリスの政治に現在でも感じられる。政治だけではなく、それ以外の分野でもサッチャーの人物やリーダーシップには大きな関心がある。サッチャーは傑出した政治家であり、英国の政治の基準を変えたといえる人であるが、利己的な考え方をはびこらせ、社会を分断したとも批判される。しかし、個人的には思いやりのある古風な女性であったという。

[アマゾン・キンドル版でご購入いただけます。](#)

価格：100円

ウィンブルドン・テニスで翌日の当日券を求めてキャンプ



## 6. 上院の現状

イギリスの議会には上院（貴族院）と下院（庶民院）の二院がある。下院は、18歳以上の有権者による公選で選ばれるが、上院は基本的に任命制である。

任命には3種類あり、92名の世襲議員、26名のイングランド国教会主教、そして議員の大部分を占めるのは一代貴族である。

世襲議員は、1999年にそのほとんどが上院議員職を失い、残った世襲議員は、世襲議員間の選挙で選ばれる。それぞれの政党に所属する議員と、クロスベンチャーと呼ばれる中立議員、その他の議員がいる。

[上院議員の構成](#)。7月1日現在788人。なお、これ以外に様々な事由で除外されている議員がいる。

一代貴族は1958年に始まった制度であるが、首相が選任し、女王が任命する。2000年に上院議員任命委員会が設けられ、中立議員を首相に推薦することとなった。また、この委員会が3主要政党に推薦された候補者の適否を審査する。

2010年総選挙後、それまでの13年間の労働党政権で労働党所属議員が増えたために、新しく政権についた保守党と自民党の議員の数を大きく増やした。2010年の保守党と自民党の連立合意書では、任命制の上院を選挙制の上院に改革することのほか、当面、上院の任命は2010年総選挙の政党の得票割合を反映したものとすることとしたためである。

上院の改革は自民党党首クレグ副首相が担当し、議員の8割を比例代表制の公選で選出する制度に変えようとしたが、上下両院とも合意が得られず、失敗した。

小政党については、緑の党のロンドン市議会議員が上院議員に任命されたが、この問題は、次期総選挙後に大きな課題となるだろう。イギリスでは得票率が5%未満は供託金没収となる。しかし、5%以上になるとそれなりの正当性を持ち始める。UKIPは2010年総選挙で3.1%の得票だったが、来年の総選挙では5%以上の得票をし、数議席獲得する可能性があるからである。

引用、転載には引用先、著者名を明記して下さい。

コメント・配信お申し込み：tomo@kikugawa.co.uk